

安心と未来づくりの スタート予算

昨年4月、市民の皆様のご負担を受け、伊豆の国市政の舵取りを任されてから、10カ月を数えました。この間、多くの市民の皆さんから温かいご支援をいただいたことに、深く感謝を申し上げます。

伊豆の国市長 小野 登志子



市長就任後、7つの命題に沿って、安全安心の暮らしを実現するために、また子育て支援、教育環境の充実、待ったなしの防災対策、医療・介護・福祉の諸問題への対応、観光地の賑わいを取り戻すこととはもとより、農業・商工業を一体化させた6次産業の発展を期して、それぞれ施策の推進を図っています。

平成26年度は、伊豆の国市制施行10周年という節目の年となり

ます。新年度予算は、伊豆の国の次の新しい10年に向けた『安心と未来づくりのスタート予算』と位置づけ、子育て支援、教育環境の整備、防災対策などの重点施策を着実に推し進める一方、葦山反射炉の世界遺産登録の推進など、伊豆の国市の発展に不可欠な施策を積極的に予算化しました。これから『安心と未来づくり』を具現化していくにあたり、『7つの命題』に沿って、平成26年度の重点施策の概要を申し上げます。

1 安心・安全の暮らしを実現

1. 通学路の整備

通学路の整備や歩道へのグリーンベルトの整備を行い、通学する児童生徒や歩行者および車両の安全性を確保します。

2. 葦山福祉・保健センター太陽光発電などの整備

葦山福祉保健センターは、大規模な災害時に災害ボランティアの拠点にもなることから、災害時における必要最小限の電力確保を図るとともに、新エネルギーの導入促進のため、太陽光発電設備および蓄電池を設置します。

3. 広域廃棄物処理施設の整備

広域一般廃棄物処理施設建設候補地選定委員会での施設建設候補地応募申請地に対する審査を踏まえ、26年度内には、施設建設地を決定できるように、伊豆市と連携していきます。

4. 神島ポンプ場の整備

生活排水、雨水処理の整備については、昨年度に引き続き、神島・中島地区の浸水被害の軽減を図るため、神島ポンプ場の整備を進めていきます。

2 農業・観光・産業経済雇用対策の強化と充実

1. 6次産業化の推進

魅力ある農業の振興として、商工と農

業の緊密な連携を図るため、農業の6次産業化の推進に向けた専任の組織を設け、事業化への調査、検討などを行っています。

2. 葦山反射炉世界遺産登録の推進

葦山反射炉の世界遺産登録に向けた、周辺整備を実施するため、関係する土地などの取得を進めると共に、ガイドンズ施設の実施設計を行います。また、今年の夏ごろには、葦山反射炉にユネスコ世界遺産委員会の諮問機関であるイコモスの現地調査が入る予定のため、万全の準備を図っていきます。

3. 伊豆の国大時代祭の開催

伊豆の国市の古代からの歴史や伝統を背景に、伊豆の国の歴史絵巻を表現した行列を核とする、伊豆の国大時代祭を開催します。

3 子育て支援・少子化対策女性の就業支援

1. 放課後児童教室の拡充

放課後児童教室の施設拡充を進め、平成27年度から小学4年生を受け入れる体制を整えていきます。

2. 小中学校遠距離通学の支援

遠距離通学児童生徒のバス定期代に対して、小学生は全額補助、中学生は35%の自己負担分のみでの窓口購入を可能とし、保護者負担の解消と軽減を図っていきます。

7 行財政改革

1. 事務事業評価の実施

市民満足度の高い行政サービスを効率的に提供するため、25年度に引き続き、事務事業評価を実施します。

2. 公共施設再配置計画の策定

効率的に施設を利用できるように施設の複合化や統廃合などを検討するため、公共施設再配置計画を策定します。

3. 市民提案型・パートナーシップ事業の創設

市民と行政がパートナーとして連携し、市民の声が活かされた、協働によるまちづくりを推進するため、市民提案型のパートナーシップによるまちづくりを進めていきます。

4. 総合窓口(コンシェルジュ)の配置

庁舎に訪れる皆様への利便性と行政サービスの向上を目的として、市役所伊豆長岡庁舎1階の正面に市役所コンシェルジュ、総合案内窓口を設置します。

私は、市民の皆様がこのまちに誇りと自信をもって、いきいきと暮らせるまちにしたい。そして、未来を担う子どもたちや孫たちの世代も安心して暮らせる伊豆の国市を創り上げたい、という強い思いを持って、これらの施策を推進してまいります。

※全文は市ホームページに掲載

3. 児童発達支援センターの整備
支援が必要な障がいのある子どもへの通所支援や放課後等デイサービス、相談体制の充実を図るため、平成27年度からの開設に向けて、児童発達支援センターの施設整備を進めていきます。



4 教育・人づくり・スポーツ振興と文化のまちづくり

1. 長岡中学校、葦山中学校の空調機の整備

魅力ある学校づくりとして、防災や安全衛生面における配慮だけでなく、時代の変化に対応した学校施設整備の充実に努めていくと共に、長岡中学校および葦山中学校の教室すべてにエアコンを設置します。

2. 野外活動センターの整備

青少年健全育成を推進するため、旧大仁東小学校を新たに野外活動センターとして整備します。

3. こころのプロジェクト『夢の教室』の開催

市内小学校5年生全員を対象として、日本サッカー協会主催のこころのプロ

ジェクト『夢の教室』を開催し、将来の伊豆の国市を支える子どもたちに夢を持ち、努力することの大切さを学ぶ機会を創出します。

4. 市制10周年記念事業の開催

本市の恵まれた自然や歴史、文化を背景に、賑わいを生む市民の交流と市民の融和、一体感を醸成し、未来に向かって力強く歩んでいくため、市制施行10周年として、さまざまな記念事業を行うていきます。

5 防災対策基盤の整備

1. 防災ラジオの整備

災害発生時に必要な情報が迅速かつ正確に伝えられるよう、同報無線難聴地域の解消を含め、災害情報伝達の強化として、同報無線を個別に受信できる機能を備えたラジオを市民に頒布し、市民の安全・安心をより一層強固にしていきます。

2. プロジェクト『TOKAIO』と大規模建築物耐震化支援の実施

一人でも多くの命を守るために、耐震診断や耐震補強工事等に関する助成を行い、木造住宅や大規模建築物などの耐震化を推進します。

3. 葦山跨線橋の耐震対策の実施

道路における重要路線の耐震補強整備の充実を図るため、葦山跨線橋の耐震

6 地域連携の医療・介護・福祉

1. 温泉を利用した健康づくりの推進

乳幼児から小・中学校までの食育事業を推進すると共に、健康・温泉・食・運動をキーワードに、自分の健康は自分がつくるという考え方を取り入れた、温泉を利用した健康づくりを拡充していきます。

2. 高齢者福祉施設整備の支援

高齢者福祉の充実を図るため、社会福祉法人が行う小規模特別養護老人ホームと、認知症高齢者グループホームの施設整備を支援し、施設入所待機者の解消を図ります。

3. ご用聞きサービスの創設

高齢者が孤立しないよう、ご用聞きサービス事業を開始し、軽度の日常生活援助を実施していきます。

